

留学体験レポート

21015079 玉木 幸恵

1. はじめに

私は授業以外のことについて述べたいと思います。

2. 衣食住について

衣：留学期間中の多くは寒かった印象があります。初めは半袖でも大丈夫ですが、突然肌寒くなったりもするので、羽織るものを持参する方がよいと思います。冬に雪はほとんど降りませんが、風がとても冷たいのでコート類は必須です。日本から持っていか、現地で購入することも可能です。

食：現地ではユニオンという食堂が利用できます。並んでいる食事はほとんど変わらないので、一ヶ月ほどで飽きてしまいます。もちろんパン類が主食で、ピザやハンバーガーは毎日あります。野菜は種類豊富なので、意外と食べられます。また、アメリカでは生魚は不衛生という考えがあるので、生魚は並びません。稀にムニエルのようなものが出ます。現地で食材と道具を用意すれば寮の地下のキッチンで料理することも、寮内のレンジを使えば持参したインスタントの日本食を食べることも出来るので、工夫して頑張ってください。

住：寮の地下にあるランドリースペースは共有です。治安があまりよくないので、洗剤を置きっぱなしにすると盗難に遭ったり、洗濯が終わっても放置していると勝手に出されて、衣類を紛失する恐れもあります。洗濯終了時間をタイマー設定したりして放置はなるべく避けた方がよいです。

3. 現地の人について

主に関わることになる現地の学生は、conversation partner(CP)と activity buddy(AB)です。現地の人々は日本人よりも時間にルーズなので、集合時間に来ない、当日キャンセル、など困ったことが起きる場合もあります(全ての人がそうというわけではありません)。私の場合、初めのCPがあまりにもやる気が無く、遅刻も当たり前のようにしていたので、ESLの先生に相談した結果CPを変えてもらい、とても素晴らしいCPのクリスに出会うことが出来ました。彼は私達の些細な疑問にも親身になって答えてくれて、家に招待してくれたり、身近でとても頼りになる存在でした。もし、CPやABで困ったことがあれば迷わずESLの先生に相談することをおすすめします。また、CPやAB以外でも友達を作ること

は可能です。アメリカでは16歳から車の免許が取れるので、学生のほとんどは車を持っています。土日はシャトルもお休みでとても退屈だと思いますが、現地の学生と仲良くなればどこかへ連れて行ってくれるかもしれません。とにかく、現地の学生の友達が一人でもいるととても心強いと思います。

4. おわりに

授業についてはだんだんと慣れていくので心配は不要です。もし困ったらESLの先生が助けてくれます。私が苦労したのは食生活と休日の過ごし方ですが、どちらも工夫して頑張ってください。